

前	奏	黙想	祈	禱	
招	詞	詩編 51:18~19	讚	美	歌 332 主はいのちを
讚	美	歌 53 さかえあるいこいの日よ	献	金	
祈	禱		讚	詠	547 いまささぐるそなえものを
信仰告白	使徒信条	566	黙	禱	
聖	書	イザヤ書 57:15	主の祈り		564
		マルコによる福音書 12:38~44	頌	栄	541 父、み子、みたまの
讚	美	歌 225 すべてのひとに	祝	禱	
説	教	『十字架への道筋』	後	奏	

イエスはエルサレムに入城し、折々に神殿の境内で教えていた(マルコ12:35)。境内のどこでか。想像するに、強い陽射しを避け、樹の下や回廊に腰おろし人々は車座。ゆっくり、じっくり教えていただく。「イエスは教えの中でこう言われた。〔律法学者に気をつけなさい。彼らは長い衣をまとって歩き回ることや〜「特別扱いされること」、〜を望み、また、やもめの家を食物にしている〕(12:38~40)。

「イエスは賽銭箱の向かいに座って、群衆がそれに金を入れる様子を見ておられた(12:41)」。さっと見て回るのではない。教えるにしても、献金の様子を見るにしても、イエスは腰をおろし、その仕草はゆったりしていた。大勢の金持ちが多額の献金をしている(12:41)。金持ちは誇らしげに、尊大に献金していた。イエスが「おっ」と注目したのは彼らではない。「ところが、一人の貧しいやもめ来て、レプトン銅貨2枚、すなわち1クアドランスを入れた(12:42)」。レプトンは最小銅貨で、1デナリオン(日雇い労働者の日当)の1/128。2枚入れても100円くらいか。1枚を献金し、もう1枚は手元に残せたであろうに、「この人は、乏しい中から自分の持っている物をすべて、生活費を全部入れた(12:44)」。

それを見たイエスは弟子たちに言った。「はっきりしておく。この貧しいやもめは〜だれよりもたくさん入れた(12:43)。「たくさん」とは金額という量ではない。情景の焦点が絞られてここに集約されている。チャホヤされたがる律法学者から、余裕で多額の献金をする金持ちから(12:44)、すべてを献げる貧しいやもめへの焦点。「やもめ」は、まさに十字架へ向かうイエス御自身の姿ではないか。

イエスは己が「命」を他者に分け与えた。愛を失った者を愛さないではいられない、病や孤独の苦しみを癒さないではいられない、御自分の命を削らないではいられない。イエスは神の御心に従わずにはいられない神の子であった。そして遂にはそれが徹底されて十字架へ向かうことになる。あの貧しいやもめのように「自分の持っている物すべて(12:44)」を、御心のために献げないではいられない。

「やもめの家を食物にしている(12:40)」律法学者のためにさえ、御自分を十字架に献げた。熱烈なファリサイ派で律法学者然としていたパウロはかつての自分を「熱心さの点では教会の迫害者、律法の義については非のうちどころのない者だった(フィリピ3:6)」と告白している。その上で「高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主イエス・キリストによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできない(マ8:39)」と驚くべき「神の愛」を語る。

「会堂では上席、宴会では上座に座ることを望む(マルコ12:39)」律法学者。単に「上席上座」のことではない。誰でも、自分にとって自分は特別だが、他者にもそれを認めさせたい。手柄を立てて褒められたがっている。弟子たちは網を捨て、舟を捨ててイエスに従ったが(1:17~20)、未だ律法学者のようだ(10:37)。しかし十字架に向かうイエスに従いながら、あの「やもめ」のように淡々と「自分の持っている物すべて(12:44)」を神に向けて用い、死にさえも拘束されない真の自由を得ることになる。

「(神は)打ち砕かれて、へりくだる霊の人と共にあり、へりくだる霊の人に命を得させ、打ち砕かれた心の人に命を得させる(イザヤ57:15)」。

イエスは坐して ゆったり教えている だから焦ることはない ゆっくり然りとなっていけばよい 十字架が近づけば坂の斜度はきつくなり 早足になろう その時の反射的な判断のために備えたい

3/19(水)1:00~3:00 教会カフェ(1:30~2:00 聖書をおはなし)。3/23(日)2:30~4:30 分区委員会(南甲府教会)。牧師の動き:3/18(火)分区教師会・送別会。3/21(金)山梨ダルク支援会の運営委員会。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。